

2003.12.24 IODP 部会事務局

日時：平成15年12月20日（土） 15時00分～17時00分

出席：執行部 徳山・荒井・伊藤・加藤・木村・佐柳・徐・巽
部会長補佐 斎藤 事務局 山川・西川

場所：海洋科学技術センター 東京連絡所 セミナー室 B

【報告事項】

- ・ 12月5～6日にサンフランシスコで開催された SPPOC 会議及び IMI BoG 会議の報告があった。2004年度の計画案が承認された。また、Conflict of Interest、SAS、SOC/POCに関する各WGがSPPOC内に設置された。OPCOMはSASから独立し、IMIに直結（議長はIMI-VP）となる。
- ・ AGUのタウンミーティング、JAMSTECとの合同ブース展示、関連ワークショップの報告があった。ブース展示には、期間中1000名を越す訪問者があり、今後の広報戦略の重要性が認識された。
- ・ 12月17日の事前調査検討専門部会の開催報告があった。SSP委員が決定された。
- ・ 各種パネル委員の選出状況が報告された。残りはILPおよびTAPであるが、ある程度の見通しは立っているとのこと。なお、委員の任期は各パネルの事情にもよるが、「2年間で最大2期」を目安に、各専門部会で定めることとする。

【乗船研究者の選出について】

- ・ 第1回締め切りを26日に控えているが、応募状況は低調である。
- ・ 応募状況を、事務局から、執行部、地球内部・地球生物・地下圏微生物・科学計測の各専門部会長・部会担当者へ送付する。乗船研究者の推薦にあたっては、各専門部会（長）と執行部を中心に検討を進める。その際、計測関連の乗船研究者推薦のため、科学計測専門部会（長）も検討に加わる。

【IODP 関連科学技術支援業務について】

- ・ AESTO と JAMSTEC/OD21・CDEX の間で、意見交換が進められている。
- ・ SciMP 長崎会議でもデータの取扱・出版に関して議論がなされた。今後 SPC へ Recommendation が上げられる見込み。

【広報戦略について】

- ・ 大学キャンペーンを行う。第1回は3月に福岡で開催予定。JAMSTEC/CDEX と連携を強化して進める。
- ・ NTV の番組取材に対し、メタンハイドレート関連の研究者を推薦する。

【Asian Marine Geology 会議への対応について】

- ・ コンソーシアムから、徳山（部会長）、徐（執行部）、Moe（孔内計測 WG）が出席予定。
- ・ IODP に関する日本の取り組み（J-DESC の活動）を紹介すると共に、年度末の国際シンポジウムに関する連絡・調整を行う。

【予算要求への対応について】

- ・ 異執行部員より、深海掘削委員会の報告があった。
- ・ 次回委員会（2月開催予定）までに、J-DESC として研究支援体制のあり方に関する提言をまとめる。

【IODP の国内科学計画第2版の作成について】

- ・ 異執行部員より、作業状況の報告があった。現在コンソーシアム HP を通じて意見を求めている。
- ・ 「IODP の国内科学計画第2版」は、AESTO に設置の「IODP 国内科学計画委員会」と J-DESC との共著とする。
- ・ 科学編（本書）のほか、技術編も作成する（伊藤執行部員・木下技術開発推進専門部会長ほか）。

【年度末の国際シンポジウムについて】

- ・ 徐執行部員より、現状報告があった。
- ・ 開催日は3月下旬（30日頃）の2日間（1日はシンポジウム、1日はビジネスミーティング）とする。今後、具体的なプログラム、各国参加者の調整、予算措置等について作業を進める。

【その他】

- ・ 徐執行部員より、陸上掘削部会の設置準備状況が報告された。陸上掘削部会でも、科学計画のとりまとめを行う。（次回執行部会を陸上掘削部会暫定執行部と一部合同で開催予定）
- ・ SciMP の木川 co-chair が勇退、後任に岡田委員を充てる予定。
- ・ ORI に “Science Advisory Office” が設置される。

次回執行部会は、1月24日（土）午後2時から、海洋科学技術センター東京連絡所で行う。